

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		・利用者本人がフロア内では自分の意思で自由にやりたい事をやる(テレビ、歩行練習等)
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		・管理者・職員は企業理念をしっかり把握して毎日取り組んでいる
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		・イベントの際には声掛けだけでなく、地域の方々の参加を促したい ・家族には来てもらっている
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		・気軽に話をしているけれども、もう一声声かけて立ち寄ってもらいたい
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		・自治会に声掛けて、出来る事なら老人会等にも出席できたらいいと思う

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・併設病院の入院者との交流 利用者と一緒に病棟中庭で日光浴をしている		・近所にあるグループホームと以前は付き合いがあったけれども途絶えているので考えている
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・2年前外部評価の時指摘された部分に取り組んできた		・薬箱の鍵、包丁の仕舞い場所等
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・会議に出た後の報告を、職員全員が受け留め内容を把握し、取り組んでいる		・報告を全員が受け、取り組んでいる
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・運営推進会議終了後話す機会をもっている		・市町村担当者との行き来する機会を持とうと思っている
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・学ぶ機会がない		・左に同じ
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・ベッドより落下しない様に家族の同意を得て柵にひもをかけている(1人だけ)		・虐待は殆どない

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・十分な説明の上、納得してもらっている		・これから入所・退所する家族等に対する不安・疑問点を説明し、今迄と同じく理解・納得してもらう
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・利用者が家族等に話された事は、充分運営に反映させている		・利用者の不満・苦情が出ない様取り組んでいく
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・1月に1回、暮らしぶりを写真入りで封書を出し報告している		・健康状態は家族等が来られた時に報告している
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・運営に関する事には、家族等の意見は出ない		・家族等の意見が出れば、その事に向って取り組んでいく
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・管理者はいつも職員の意見や提案を聞き、反映させている		・左に同じ内容で取り組んでいる
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・いつも柔軟な対応に心がけている		・左に同じ
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・職員が変わる場合は、外の職員が利用者へのダメージがないよう配慮している		・職員の移動は少ないけれども、利用者のダメージがないようにしている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・研修を受ける機会が少ない為、働きながら個人的に勉強している		・研修を受ける機会の確保に取り組んでいきたい
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・3ヶ月位前頃交流していたけれども相手同業者の方が受け入れてくれない為、一方的になり今は止まっている		・これからは以前の様に交流をする様取り組んでいきたい
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	運営会議も含めたフリートーキングに月1回程度取り組んでいる。		各月1回程度は懇話会として交流を持っていきたい。
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理者や職員は個人的勉強に取り組んでいる。運営者は勤務状況を把握の上、各自が向上心を持つ様、配慮している。		今後も管理者だけでなく職員も県・市等主催の研修会等の出席をフォローしていく。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・本人の申し出を断る事なく、職員は傾聴し、受け止め理解していく努力をしている		・何事も相談出来るよう信頼関係を作っている
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・家族が来所された際、相談があれば家族より話を聞き受け止めている		・家族との信頼関係は、お互いに頼みたい事があれば話をしている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要としている支援を見極め、本人と家族の意に沿うようサービス利用を実施している(マッサージ)		・本人と家族等の意向でマッサージに取り組んでいる
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・本人が安心して、納得した上でサービスの利用をしている ・居室でマッサージを受けている為、外の利用者との場の雰囲気は悪くない		・本人が納得がいく迄長期になってもマッサージを受けてもらう事にしている
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・利用者は居室にいる事が少なく、フロアでテレビを見たり中庭に出てお茶をしたり、職員と過ごす時間は多く、本人から昔の話を聞いたり、昨今の話題は職員から話す		・利用者1人ひとりが色々な話題についてこられる様に配慮したい
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・家族来所の際には本人の色々な出来事、取り組んでいる事を話し、家族に安心感を持たせる様にしている		・家族の方で余り来所されない家族には、折を見てTELをしている
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・入所したいきさつ等本人に聞かれた時は説明を続け本人と家族との関係を築き上げている		・認知症の方は家族を忘れがちになるので、なるべく回数を多く来所して頂くよう家族に話している
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・以前住んでいた所の商店の方や近所の方の声掛けがあった場合本人に話している		・本人の住所があった所の住民には来ていただいたりしている
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・利用者同士の思いやりがあり、孤立せずに支えあっている		・利用者同士の支え合いをなくしたくない

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>・併設の病院に入院している方々の家族とは時々会うので、本人の様子を伺ったり家族の話を聞いている</p>		<p>・家族と会った場合は話をしている</p>
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>				
<p>1. 一人ひとりの把握</p>				
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・1人ひとりの暮らし方を見ながら意向の把握に努める 困難な場合も、日々の暮らし方を見ながら本人の意向に沿うようにしている</p>		<p>・困難な場合は職員同士ミーティングをして良い方向に持っていく</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>・これまでの暮らしの把握については、いつも話す機会を持っているので本人より聞いておりある程度の事は把握している</p>		<p>・1人ひとりが色々な事を話せる雰囲気になっている</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>・暮らしの現状にはいつも気を付けていて、1人ひとりの1日の暮らし方を把握している</p>		<p>・本人が1人で居室に居る場合は、心身状態を聞いている</p>
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>				
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・家族が来所の際、本人・家族・計画担当者との話し合いを持ち、お互いの意見を聞き計画している</p>		<p>・左に同じ</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・介護計画の期間に応じて見直し前に対応の変化が生じた場合は、本人・家族・計画担当者と新たな計画を作成している</p>		<p>・今迄以上に家族の来所し易い雰囲気を持っていき、又、本人・家族・計画担当者の話が和やかな気持ちで話し合える様にしている</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・日々の様子やケアの実践、結果、工夫等個別記録し、情報を共有して色々な事に活かしている		・利用者に対する情報は職員同士共有し、実践や介護計画に取り入れている
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・家族が中庭に出て散歩したい要望があれば散歩を本人と一緒にしている		・左に同じ
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・消防署は防災訓練(年2回) ・保育園はイベントの来客で来たりする		・ボランティアなどの協力があれば活用して行きたい
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・マッサージを利用している		・左に同じ
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している			今後、地域との運営推進会議開催時に地域包括支援センターの方にも出席をお願いしたい。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・かかりつけ医が必要としている利用者は家族の人に連れて行ってもらっている		・個人的にかかりつけを必要としない人は併設の病院に診察してもらったり薬をもらったりしている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・月1回診断をしている。 ・専門医に関しては川口病院で受診する様になっている。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・併設の病院の看護師との交流は毎日あるので色々な事を気軽に相談できる		・併設の病院に散歩したりしながら利用者の健康状態を話題にしたりしている
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・入院した時は安心して過せる様にしている ・退院の情報交換は併設の看護師に相談している		・併設の病院に入院する事が多い為、病院の看護師との連携はうまくいっている
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・重度化した場合は家族に連絡し、併設の病院に入院している		・併設の病院に入院した場合は、病院に行き家族との会話をしている
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・重度化し医療行為が必要になったら家族に連絡し、併設の病院に入院している		・病状の変化に気をつけている
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・本人にダメージを与えない様家族と話し合った上で、本人には知らせるか家族に話してもらう		・いかに本人がダメージを受けない様にするか、職員同士の情報交換をしている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応には配慮し、1人ひとりファイルに記録している	・家族が来所され1人ひとりの記録を見られる様にしている ・プライバシーを損ねる言葉かけには気をつけている
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・本人自身の意志に従うようにしている	・話し合いの上で自己決定してもらう
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・フロアで遊んだり、テレビを見たり、中庭に出てティータイムをしたり散歩したりする事にも、本人の意思を尊重している	・本人が今以上の事を望めばその様に支援していく
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・当所で2ヶ月に1回髪を切る	・理容・美容院に行かず当所での髪切りで満足している
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・食事の準備、片付けは一緒にしたりする	・左に同じ
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・本人が望むお酒、おやつ等好みの物を出し楽しめる	・一部の人に支援している

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>・本人が出来る所迄自力でやってもらい、出来ない所は手伝う</p>		<p>・本人自身で出来るようになる様支援している</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>・入浴は夏(週3回)、冬(週2回)支援し、楽しんでもらっている</p>		<p>・本人の希望があれば、決めた時入浴せず気分のいい時に入浴する様にしている</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>・夏は冷房をつけたり水枕をしたり、冬は電気毛布がダメな人は湯たんぽを入れて対応している</p>		<p>・これから寒くなるので湯たんぽを入れる様にする</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>・利用者の縫物、雑巾を縫ってもらったり、1人トランプをしたりして生活暦を楽しまれ支援している</p>		<p>・レクリエーションとして、貼り絵、塗り絵、歌、ゲーム、ボール遊び色々と多彩に楽しみ気晴らしの支援をしている</p>
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>・毎月の小遣いの中から100円ショップに行き、自分で欲しい物を買う</p>		<p>・左に同じ</p>
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>・天気が良ければ近くの寺院の境内、100円ショップに出かける</p>		<p>・1人ひとりのその日の希望でなく全員で出かける出かけたくない人は留守番をし、その時職員が1人残る</p>
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>・初参り、近くの神社、仏閣、盆踊り、ぶどう狩り、回転寿司、お祭りとお出かけている</p>		<p>・左に同じ</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・家族への年賀状出し		・本人からの電話の申し出はないので電話はしない
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・家族・家族等友人がいつでも気軽に訪問して来られる		・いつも気軽に来てもらっている
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・殆ど拘束をしないケアを実践中 拘束をする場合は事前に家族の了承を得る		・拘束をしないようケアに取り組んでいる
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・利用者自身中から鍵を掛ける事はあるけれども外から鍵を掛ける事はない		・鍵は殆どかけない
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・利用者の安全確認やプライバシーは職員全員で配慮している		・居室やトイレに長く入ってドアが閉まっていたら声かけて対応している
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・利用者自身の状態に応じて対応している		左に同じ
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・1人ひとりの状態を把握し事故防止に取り組んでいる		左に同じ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・職員が併設の病院からの移動が多いので、新人職員にはその都度、応急手当の仕方を教える		・事故発生の場合、皆が直ぐに対応出来るように病院への連絡、又連絡網で対応
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・年に2回防災訓練をしている		・地域の人々への協力を促したい
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	・認知症が進んだ利用者へのリスクについては家族に説明し納得してもらっている 利用者自身抑圧感のない暮らしをしている		・リスクはいつも心がける様にしている
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・体調変化にはいつも職員全員での対応に心がけている		・朝の申し送り、申し送り簿への記載で対応
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・薬は分包されていて、鍵を掛けた場所に保管し医師の指示通り服薬の支援をし、病状の変化の確認に努めている。		・左に同じ
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かさず働きかけ等に取り組んでいる	・運動や散歩をし身体を動かし、便に関しては記録をし、職員全員把握できるようにしている。		・左に同じ
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・利用者本人で出来る人は自立でやってもらい本人で出来ない人は職員と一緒にやる(歯磨き・うがい)		・左に同じ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・一人ひとりの食べる量、水分の確保は毎日記録し、状態や力、習慣に応じた支援をしている。		・左に同じ
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	・インフルエンザの注射は、併設の病院で受ける ・MRSAは入所時検査 ・天気が良ければ布団干しをする		・左に同じ
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・調理用具等は太陽光線に当てたり、消毒(漂白剤)をする ・冷蔵庫の管理もやっている		・左に同じ
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・花壇に花を植えたり四季を通じて鉢物を置いたりしている		・利用者には鉢物の水やりを手伝ってもらっている ・家族・近所の人等来所の際「きれいだね」と言われる様に手入れしている
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・居間ではカーテンを使用 ・テレビ、CD等の音の調整		・左に同じ
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・1人ひとりの居場所は居室か、フロアの椅子に座ったりソファーに座ったりしている ・車椅子の利用者は車椅子に座っている ・利用者同士は皆さん多人数で話し過される		・テレビの前のソファーで皆さんと一緒に過される事が多い

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・使い慣れた物を入所する時持って来られた物はそのまま使用されている(椅子・裁縫箱・筆筒等)		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・夏は冷房を27 に設定し、午前中は中庭で涼んだり天窓・サッシを網戸にし風を入れ冷房をつけず午後つける。 ・冬は暖房を26 に設定し加湿器を3台つける。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・フロアが広いので安全で自立した生活は出来ている		・安全である様に、いつも見守りをしている
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・利用者が孤立しないようにしている		・混乱には話を傾聴し、失敗には誰にでもある事だと本人の気持ちを和ませる様にしている
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・中庭が広いので天気良ければお茶をし、夏は畑に野菜類を植えて利用者と職員と一緒に収穫を楽しみ外回りの空間を活かしている		・歩いて行ける人には畑での収穫も一緒にやっている

. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・中庭が広く、樹々・四季の花が多く雨の降らない限り中庭に出て、お茶、ボール遊び、歌を歌い楽しんでいます